



特定非営利活動法人
がん患者団体支援機構

Canps News Letter

NO.10 2021年5月20日発行

第16回がん患者大集会の報告

理事長 浜中和子

2020年11月22日（日）にオンラインで、第16回がん患者大集会を開催し「すい臓がんとチーム医療」をテーマに講演会とシンポジウムを行いました



●第1部

- ・特別講演 「すい臓がんの早期発見について」花田敬士先生(JA尾道総合病院 消化器内科)
- ・講演 「すい臓がんの最新の治療」森実千種先生(国立がん研究センター希少がんセンター／中央病院肝胆膵内科)
- ・講演 「膵臓がん生存率向上のために私たちにできること」眞島喜幸氏(NPO法人パンキャンジャパン 理事長)

●第2部 シンポジウム：「がん患者を支えるチーム医療」

コーディネーター：下井辰徳先生(国立がん研究センター希少がんセンター)

シンポジスト：眞島喜幸氏(すい臓がん体験者)、半田一登氏(チーム医療推進協議会 代表)

中嶋崇博氏(山梨県立中央病院 言語聴覚士)、馬場知子氏(自治医科大学附属さいたま医療センター 公認心理師)

宮本直治氏(薬剤師 胃がん体験者)、眞原和希氏(舌がん体験者)

- 閉会式 アピール文提出 山本ゆき氏 (NPO法人がん患者団体支援機構 副理事長)

アピール文

○厚生労働省へのアピール

1. 難治性がん・希少がんに対する迅速な研究開発を要望
2. がん診療連携拠点病院にチーム医療の普及を切に希望
3. チーム医療の整備対応に対する診療報酬の改訂を希望
4. チーム医療の連携の輪に、相談支援センターへピアサポーターの導入を希望

○日本医師会へのアピール

1. すい臓がんの早期発見のために、がん検診に「腹部エコー」ができる体制を
2. 全国のがん診療連携拠点病院にがん患者のためのチーム医療の普及を
3. チーム医療の連携の輪に、相談支援センターへピアサポーターの導入を希望

○がん患者・家族の皆さんへのアピール

1. がんの早期発見・早期治療、継続治療を推進すること
2. 多職種のチーム医療の輪があることを理解して、主治医や相談支援センターに相談を
3. 患者会・がんサロンなどを通して積極的に患者同士のつながりをもち、悩みを分かち合い、助け合いましょう



感想

講演では、花田先生より、すい臓がんの危険因子（喫煙、糖尿病、家族歴、すいのう胞など）を知り、腹部エコーで「すい管の拡張」「すいのう胞」をチェックして早期発見できることを聞き、森実先生より、進行度別の化学療法と、多剤併用療法、遺伝子治療の開発について話を聞いて、大変希望が持てた。眞島さんは、妹さんをすい臓がんで亡くし、自身もがん体験しながら、パンキャンジャパンを設立し支援活動をされている。

各講演とも大変有意義な内容でした。

シンポジウムでは、チーム医療推進協議会の紹介とメディカルスタッフの役割の重要性について、それぞれの立場から体験を交えて建設的意見が沢山出ました。

ピアサポーターもチーム医療の一員として患者の相談支援にあたるという提案があり今後の課題になりました。

第16回がん患者大集会はコロナ禍のため初めてオンラインで開催しましたが、多くの方が聴講され、大変有意義であったと評価していただきました。

ご協力いただきました全ての皆様のおかげと心より感謝申し上げます。



Canps Station 第16回がん患者大集会オンライン開催



メインパーソナリティー：ムーラン
 撮影・編集・配信：深江 豊・中野潤子
 プロデュース：NPO法人がん患者団体支援機構

新型コロナウイルス感染症の中、「第16回がん患者大集会」を初めてオンラインで開催しました。全て初挑戦でしたので、まず私達実行委員がオンラインのやり方を真剣に勉強するところから始まりました。出演者の方々にもお願いしてご一緒に何回かリハーサルを行いました。Zoomウェビナーをいうアプリを初めて使いましたが、実行委員がリハーサルに入れなかったり、使い方が分からなかったりと大変だった事もありましたが、回数を重ねていくうちに順調に使いこなせるようになってきました。

今回は、講演を事前にZoomで録画させて頂いたり、録画した講演を送って頂いたりして準備をしました。シンポジウムにご参加される方々は、自宅や病院からの参加となり、遠いところの方々と繋がるには良い方法だったと思います。準備の為に外出する時間はゼロになりましたが、例年より忙しく本番終了までずっと緊張感ありありの大集会となりました。

当日は、全国から385人もの方が、Zoomウェビナーで講演会やシンポジウムをご覧になってくださり、大盛會に終えられたと思います。

この内容は、YouTubeでCanps Station Vol.49として配信していますので、そんな私達の思いもチョット加味して、当会ホームページのネット放送・過去の放送からご覧頂けると嬉しいです！！(ムーラン・中野潤子)



Canps Station



コラム

ピアサポーター 川井章

『ステージⅣの手厚い治療が粛々進み、大切な人と共に過ごした日常が色失せていく』『気弱に相談する自分が嫌だった』『胸いっぱい言葉すら出てこない』、Aさんは終了5分前に現れ、ぼそっと話しては帰る。

『アウトドアが趣味だけでも無理』…本当にそうなのでしょうか？

このひと言に背中を押されて、同好の仲間と車椅子で大自然に微笑まれた一日を実現した。

『故郷に戻る前にお礼を』、立ち寄ったAさんは高級果実店の小箱を握りしめていた。意識が戻ったとき所望した果物を求めて、真夜中の都心まで車を走らせたという。

微笑みと涙が交互にブレンドされた当時のお話、私達も同席した病院スタッフも感涙のお相伴にあずかった。

「いつでもお待ちしておりますよ」のひと言、僅かな憩いひと時が誰の手助け無くとも迷いを鎮めたり生きる力になる。これこそ医療者ではない私たちピアサポーターができる原点だった。その日から懐疑だった病院の態度も少し変化が見られた。

ピアサポートに従事したころ薔薇を植えた。病虫被害で落葉あり、嵐で枝も折られても残った蕾が厳冬を耐えて開花した事もあった。傘寿と金婚式を同時に迎える今年は、万物に見守られている気配を伝えるかの様に逞しい花をお露目してくれた。

還暦に遭遇したがん闘病生存20余年。講習会やイベントも頼まれ仕事にも愚直に誠実に参加してきた。多様なキャラとの出会いは、五感を養い気配を研ぎ澄ます宝庫だ。

がんは引退を赦してくれない。命の安全圏からの傍観者には決して分からない生身体験から滲みでた態度は必ず相談者に伝わると信じて、これからもピア・マインドのアップデートを継続していきたい。



団体会員紹介「がんカフェあきたの会」

代表 三浦恵子



2016年に秋田でがん患者団体支援機構主催の第11回がん患者大集会が開催される前に、山本ゆきさんのご尽力で「がんカフェ秋田」が開催されました。

この時に50名ほどの参加者があり、こんなにもいろいろな方々が集まって下さることに、深く感動を覚えました。

私は、それまで7年がんサロンを開催しておりましたが、このような盛り上がりは初めてでした。がん患者大集会に触発され、がんの勉強会を毎月2年間継続しました。その後、やはり患者さん同士が真摯に、悩みや境遇を話し合える場所が必要だと思いを新たに、自身主催の「がんカフェあきたの会」を始めました。今年で4年目になります。

活動は、患者さんの悩みを聞いて、それが解決できるような医療機関やサイトや勉強会の紹介をしたり、実際に県内の専門家を招いて勉強会を開催することをしています。

皆さんの日常から、何気ない悩みをお聞きすることは、医療関係者にはとても新鮮なことのようで講演者からも、感謝の言葉を頂戴します。そのような場を今後も大事にしたいと思います。

患者さんやご家族が、今さら聞けない疑問・こうしたほうがよかったんじゃないか、という後悔など、病院や家族間でも話せないことを、話せる場で有って欲しいと思って、毎月開催しています。今後は患者さんの要望に合わせて、勉強会も復活させたいと計画中です。

ピアサポート事業

がん患者・家族への相談支援事業を行っています

- がん体験者によるがん相談窓口のご案内（相談は無料です）
*新型コロナウイルス感染予防のため、変更となっています



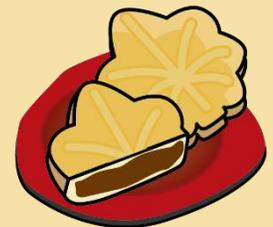
実施場所	開催日・曜日	時間	連絡先・場所
☎がん患者団体支援機構 ・ピア電話相談	毎週 月・木曜日	11:00～14:00	電話:080-4112-4077
☎世田谷区保健センター ・ピア電話相談	毎月 第2・4木曜日	9:00～13:00	電話:03-6265-7562
🏢東京医科歯科大学附属病院 ・患者サロン(おしゃべりサロン) オンライン開催	2021年6月開始予定 毎月 第3火曜日	13:30～14:30	電話:03-5803-4008 病院HPより要申込み
🏢横浜市立大学附属病院 ・患者サロン「はまかせサロン」 オンライン開催	偶月 第2木曜日 奇月 第2金曜日	14:00～15:15	電話:045-787-2800 病院HPより要申込み
○武蔵野赤十字病院 ・ピアサポート相談(面談・電話) ・患者サロン	毎月 月・水曜日(現在休止) 毎月 第3火曜日(現在休止)	11:00～15:00 13:00～15:00	電話:0422-32-3282 1番館1階 売店付近面談室 5番館3階 情報ラウンジ横
○都立駒込病院 ・ピアサポート相談(面談・電話) ・患者サロン	毎月 火・金曜日(現在休止) 毎月 第2金曜日(現在休止)	13:00～16:00 13:00～15:00	電話:03-3823-2536 医療情報室「こまどり」 本館3階 患者サロン
○横浜市立大学附属病院 ・ピアサポート相談(面談・電話)	毎月 第1木曜日(現在休止)	13:00～16:00	電話:045-787-2800 2階患者サポートセンター2番窓口

- 2021年度ピアサポーター養成講座は中止です

第17回がん患者大集会のご案内

【開催予定】

- ・日時: 11月14日(日) 13:00～16:00
- ・会場: 広島大学広仁会館+オンライン配信(ハイブリッド開催)
- ・主催: NPO法人がん患者団体支援機構・第17回がん患者大集会実行委員会
- ・内容:
第1部 講演: ①がんになった医師の講演(交渉中)
②花木裕介氏(がんチャレンジャー代表)
- 第2部 シンポジウム: ACP(人生会議)について
シンポジスト: 医師、家族・遺族、医療関係者、宗教家など
- ・定員: 300名 参加費: 無料



特定非営利活動法人 **がん患者団体支援機構**



【東京事務局】〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-28-7

TEL: 03-5787-6411 FAX: 03-5787-6420

【尾道事務局】〒722-0022 広島県尾道市栗原町5901-1浜中皮ふ科クリニック内

TEL: 0848-24-2413 FAX: 0848-24-2423

E-mail: info@canps.jp ホームページ: http://www.canps.jp